

エコニュース さって



第 50 号

平成 25 年 9 月 20 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

今年も川の再生体験イベント 「行幸湖浮きウキフェスタ 25」開催！ 報告：久保田

—10月27日（日）10時より、権現堂1号公園で。浮島づくり参加者募集をしています—
行幸湖浮きウキフェスタも今年で5年目を迎えます。スタートは5年前の県主催の「川の再生体験」イベント、「浮島づくり」や「カヌー・ドラゴンボート体験」を柱にして、行幸湖を囲む企業や県内および3市町（幸手市・五霞町・旧栗橋町）の企業やボランティア団体などがブースを出してフェスタを開催したのが始まりです。

今年は、会場にテントブースを出す参加団体も17を越え、さらにバンド演奏、ゆるキャラスコットやちんどんのパフォーマンスも加わり、にぎやかなフェスタになりそうです。

さって市民環境ネットはこのフェスタで、おもに「浮島づくり」をサポートします。具体的には参加者の募集、製作チーム編成、各チームのリーダ講習、当日の受付、製作・進水式の進行などを行います。製作する浮島は9基、一昨年、昨年に引き続きコスモ石油エコカード基金の支援によるものです。



ネットかけ

コスモ石油による支援も、当初の予定どおり今年で終わることが決定しています。フェスタを連続して開催するにしても、来年からの浮島づくりをどうするか。実行委員会では今年のフェスタ25の計画と共に、どんな形で浮島づくりが可能か、アイデアを出しあい検討を重ねているところです。

今年も、フェスタにはさって市民環境ネットの皆さまのご協力をお願いすることになります。参加者募集活動、前日の準備、当日のさまざまな仕事、いろいろな面でご助力をいただくこととなります。よろしくお祈いします。



完成！



カヌー

95 回腐葉土づくりの会

報告：澤村

5月の野菜植えを迎えるに当たって熟成腐葉土を頒布しました！ ジャガイモの生長を確認して芽欠きを行いました！ 2週間後に追肥と土寄せを行いました！

4月21日（日）予定した日が生憎の冷たい雨とともに3、4日間、寒気が戻って冬のようでしたが、延期した4月23日（火）は春の季節となり、朝9時から晴天の下で2基の切返しと熟成腐葉土の頒布、ジャガイモの芽欠きを行いました。開催日の突然の延期でウィークデイにも拘わらず18人が参集しました。

冒頭、会長からエコニュースさって48号の配布とさって市民環境ネットの活動5周年記念誌の配布があり、記念誌に腐葉土づくりの会の活動報告も掲載されている旨の紹介がありました。事務局から今回は5月の連休中の野菜植えに向けた熟成腐葉土の頒布と残った2基の切返し、ジャガイモの芽欠きを行うとの作業案内がありました。

作業は、女性群が中心となり熟成した腐葉土を頒布用60袋に袋詰めをし、男性群は半熟成状態の2基の切返し力作業を行いました。2基の床は発酵・熟成が遅れており、7月以降の奥マメやタマネギの栽培に間に合えばよいと思います。作業を終了後、40袋を18人に頒布して、残った20袋は、午前中都合の悪くて参加できなかった人に残しました。

頒布終了後、畑に移動して、ジャガイモの芽欠きを行いました。芽欠きを初めての人もいたので、ジャガイモは芽の数が多いと、小さいイモが沢山生るが大きく成らないことから生きのいい芽を2本残して芽欠きはすることを説明しました

午後4時から事務局が対応して午前中都合のつかなかった5人に、残った20袋の熟成腐葉土を頒布しました。

5月4日（土）9時、晴、GW中にも拘わらず19人が参集してジャガイモの追肥、土寄せを行いました。4月末から5月に入っても寒い日が続きましたが、漸く、5月らしい温かい天気になって、作業中汗ばむほどでした。作業は、最初に草取りを行い、その後、事務局から追肥（化成肥料、チッソ：リン：カリ＝8：8：8）の適量、クワでの土寄せ方法を示して、追肥と土寄せを分担して効率よく作業をして1時間弱で終了しました。

なお、作業終了後、新年度作業分担のリーダー及びサブリーダーを中心とした新年度役員候補者（欠席者は内諾済）が中央公民館に移動して10時過ぎから、6月2日の総会に向けて「平成25年度腐葉土づくりの会実施分担制（案）」と規約の改正案を協議しました。その後、平成24年度の会計収支決算報告書（案）と平成25年度収支予算（案）について監事から監査を受けました。

第96回腐葉土づくりの会

報告：澤村

今年もサツマイモ苗300本植えました！

- ・日時：5月19日（日） 15時集合、うす曇り
- ・場所と出席数：畑、桜泉園。27人

サツマイモ苗（注）に植える時刻は、植えた後日照りが少ない方がよいことから午後3時から作業を行いました。数日前までは、朝から時々雨の予報でしたが、幸い半日ずれて夜雨の予報でタイミングがよく、うす曇りの下で作業をして、汗をかかずに水分も準備しましたが取らずにすみしました。

最初に、前回、ジャガイモの追肥（化成肥料）が若干少なめでしたので、早めに参加した人で畝の反対側に気持ち追肥して土寄せを行いました。

全員が集合した時点で、事務局から「ここ数年は縦植え又は斜め植えをしていたため、イモが大きくなり過ぎ、また生る数も少なかったため、今年は舟底型で植えてイモは小ぶりだが数多くなるようにしたい。畝の間隔は1m、苗の間隔は40cm、畝は高く広めにつく

る。」と説明して、中村（勝）氏の指導で作業分担して開始しました。畝を作った後、5～10 cm深さの舟形の穴をつくり、水をタツプリやり、その上に苗を置き、葉の元まで埋まるように土を被せました。その後、埋めた箇所に水をやりました。作業は、約1時間で終了しました。また、後で熟成腐葉土の頒布を行いました。

（注）今年も新井技術顧問に入手してもらいました。

第97回腐葉土つくりの会

報告：澤村

平成25年度総会が開催され規約の一部改正と役員体制が実務体制となりました！ タマネギが昨年より収穫増でした！

- ・日 時：6月2日（日） 9時集合、うす曇り
- ・場所と出席数：桜泉園。畑。27人

平成25年度総会が、次第に沿って進み問題なく終了しました。

冒頭、本田会長より現在は自給率の低い食料が安全保障上重要課題になっているとの挨拶に始まり、事務局から平成24年度事業実績報告及び決算報告があり承認されました。

続いて本会の運営上の実施分担制を組むことが提案され承認されるとともに、この実施分担制に基づいて規約が一部改正（案）して提案され承認されました。また、今年度は役員改選時期であり、本田会長が相談役となり、新たに「さって市民環境ネット」の久保田新会長が本会の会長として推薦・承認され、役員体制も本会の円滑な運営のために会長以下、代表幹事、事務局と実施分担制のリーダー、サブリーダーなどが中心の組織が提案されて承認されました。また既に実施中の25年度事業計画（案）と予算案が提案されて承認され、総会は予定時刻より早く終了しました。



タマネギ収穫、一人30個以上！

なお、24年度は、やや米ぬか不足したため腐葉土の熟成が遅れたことから、今年度は9月～11月には各位が米ぬか収集に努めることを確認しました。

総会終了後、畑に移動してタマネギの収穫作業を行いました。今年は白タマ苗800本、赤タマ苗200本の計1000本を植えて、赤タマが枯れたり、生長が遅れて収穫不足でしたが、全体では昨年よりは多く収穫できました。35個の公平なタマネギのヤマをつくって、出席者、欲しいけれど都合で欠席し人にも頒布し、更に環境課、新井技術顧問、地主及びD I Cフィルテック株（一時駐車場借用先）にも差しあげました。最後にジャガイモの土寄せと、梅雨入りしても雨が降らず水不足でジャガイモの生長が遅れていたため水遣りを行いました。

第98回腐葉土つくりの会

報告：澤村

ジャガイモが疫病発生のため残念ですが大減産でした！！ サツマイモは少し枯れましたが順調に生長しています！

- ・日 時：6月30日（日） 8時集合、うす曇り
- ・場所と出席数：畑。桜泉園。32人
- ・作業内容：ジャガイモの収穫、サツマイモ畑の草取り、熟成腐葉土の頒布と幸手小中学

校向けの袋詰め

冒頭、久保田新会長から「エコニュースさって」と「エコライフDAYチェックシート」に基づいてエコライフDAY参加への協力願い、「ハウネンエビ観察会」結果及び幸手小学校4年生向けの「身近な環境の生き物を調べよう！」としてハウネンエビなどと草花を使った「幸手小学校環境講座」結果の紹介、高校生を対象にした「地域ボランティア団体の活動体験」募集などの話を込めた挨拶がありました。その後、事務局長から作業全般案内と今年はジャガイモが疫病発生のため生長せずサイズが小さくて大不作であるとの報告があり、畑担当の中村リーダにバトンタッチして、先の総会で決めた作業分担表に基づき案内があり作業を開始しました。まず、ジャガイモの掘り方の説明があり、ジャガイモ掘りながら、キタアカリ、メイクイン、ダンシャクの3種に分けたヤマをつくり、更に一人欠席者の分も含めて3種を公平に33個に分配した小ヤマをつくり、頒布しました。また、収穫したジャガイモも前にして全員の写真をとりました。

サツマイモ畑の雑草取りも手分けして行いました。

事務局、小中学校向けの熟成腐葉土持参関係者、及び熟成腐葉土の欲しい人が桜泉園に移動して袋詰めと頒布を行いました。

第99回腐葉土つくりの会

報告：澤村

今年も自前で奥マメの種播き、育苗及び苗植えを実施！！ サツマイモの草取りとつる返しを行いました！

・日 時：7月21日（日） 4時集合、うす曇り

・場所と出席数：畑。25人

・作業内容：奥マメ植え、サツマイモ畑の草取りとつる返し（地主が14日に畑を耕した）

冒頭、久保田会長が所用で欠席のため、事務局から6月度の、さって市民環境ネット会議結果を報告した後、事務局から作業概要、特に7月10日夕方に有志（中村（勝）、永田、原田（武）、松本、澤村）で奥マメの床つくりと約1200粒の種播き、そして畑へ土壌改良と元肥えに熟成腐葉土と少量の化成肥料散布をしたこと、その後奥マメの育苗のため18日まで毎日、夕方水くねしたことによって全てが移植に適した生長したことを報告しました。

その後、中村リーダから苗床にタツプリ水撒きして、床から苗抜きを行い、マメの茎だけが15～20cmに伸び、苗が本葉も出て丁度植え頃であるとの説明があり、畝幅80cm、2本植の株間隔40cm、苗を植える前と植えた後水をタツプリやること、苗の植え方は子葉を残した深さに植えることのことと、また手分けしてサツマイモ畑の草取り（元根を切らないよう）、とつる返しを行うようにとの作業説明がありました。クワでの畝づくりは男性が中心で行い、マメ苗植えと（植える畝に足を入れて固めないようにして）、サツマイモの草取り、つる返しは全員で行いました。約、1時間で全作業が終了しました。200本以上の余った苗は超安価で頒布しました。また、道路側のジャガイモの収穫後の空き地の一部にタマネギを植えるが大半は残るのでダイコンを栽培する提案があり賛同されました。

【会員募集中！】環境保全活動を一緒にやっていただく方を募集しております。

是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕

★問い合わせ・申し込み ★ 久保田 修(代表)まで TEL 0480-42-1264

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、

幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)